

# 体育

## —体育科— 目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。

### ◎児童の実態

- ・体を動かすことが好きな児童が多くいます。
- ・ボールを使った種目、鬼遊び等に意欲的に取り組みます。
- ・運動遊びの経験の少なさから、基礎的な体力が不足している児童が多くいます。
- ・体力テストでは多くの学年で「立ち幅跳び」、「ソフトボール投げ」の記録が低い傾向にあります。

### ◎指導についての課題

- ・好きな種目に偏りがあるので、どの運動分野にも興味・関心をもたせ、運動経験を積ませること。
- ・全校の取り組みとして、休み時間全員が外へ出て体を動かす機会を確保し、進んで運動できる環境を整えること。

### ◎授業革新推進に向けての具体的な方策

- ・様々な運動に進んで取り寄せ体の動かし方を覚えられるようし、「わかる・できる・楽しい」を実感できるような運動に親しむ力を育てます。
- ・学習カードなどを授業に取り入れ、各自の課題の把握と、課題解決に向けた取り組みができるようにします。
- ・児童の興味・関心が高まる道具や場を用意し、主体的に学習できるようにします。

#### 低学年

- ・運動遊びやゲームを工夫し、運動経験の幅を広げます。
- ・体育の時間に経験した運動を、休み時間の遊びや生活の中でも続けられるよう働きかけます。

#### 中学年

- ・一人一人がめあてをもって運動に取り組めるよう、学習過程を工夫します。
- ・運動領域や保健領域の学習の中で、健康や体力についての意識を高めるよう働きかけます。

#### 高学年

- ・課題を見つけ、解決方法を考えられるように、資料や場を工夫します。
- ・自分の生活を見直し、健康な生活への意識を高める学習指導を工夫します。

### ◎言語活動の充実

- ・表現活動やゲームでは、互いの意思の疎通を図ったり、互いに励まし合ったり、相手チームの健闘を称えたりするなど、協力をして学び合う場面を多く取り入れます。
- ・保健領域の学習では、体験や経験を基に話し合いを行い、考察し、身近な生活における課題や解決の方法を見つけたり、選んだりする活動を充実させます。養護教諭と連携して学習内容の定着を図ります。
- ・運動領域では、資料を基に練習方法や作戦を考えて教え合ったり、その成果や課題について話し合ったり、学習カードにまとめたりする活動に取り組んでいきます。

### ◎その他（補充・発展指導計画・問題解決能力等）

- ・体育朝会を行い、体力向上に向けた運動や運動への関心を高める活動を取り組みます。
- ・なわとび旬間（12月）やマラソン旬間（2月）を設けます。
- ・体育の授業を通して、基本的な技能を身につけ、体力を高めるとともにフェアプレー精神を身に付けます。
- ・オリンピックに関連づけて、ヨガを取り入れ、体の柔軟性や呼吸法、調子を整える力を育て、体力向上に努めます。